

# みんなで考える 精神障害と権利

(専門職向け)



# はじめに…

## \* 今日、一緒に考えたいこと…

- 精神の「障害」について
- 「障害」と権利について

## \* 今日のタイムスケジュール (120分 : 休憩10分含)

講義

ウォーミングアップ

グループワーク

グループ発表

ふりかえり

# 精神障害とは①

21世紀は「こころの時代」とも言われるように、社会構造が変化していく中で現代人は様々なストレスや問題をより多く抱えるようになりました。精神疾患も多様化していますが、特にうつ病については、啓発や理解を求める活動が各地で行われ、自殺対策も様々な取り組みが進められています。

しかし、精神疾患をもつ人がすべて障害があるかということそうではありません。

# 原因別に分類した精神疾患

## 心因性

何らかの精神的な負担によっておこるもの

強いストレスからくる反応性うつ病や不安神経症など

## 外因性

身体の病気が原因で起こるもの







脳腫瘍や脳血管性障害などの脳の病気、感染症や内臓の病気によって精神的機能に障害がでるもの

## 内因性

脳の器質的な問題によっておこるもの

統合失調症、そううつ病、そう病など

# 精神障害とは②

陽性症状	陰性症状
<p data-bbox="302 300 996 371">そこにいない人の声が聞こえる (幻聴)</p> 	<p data-bbox="1288 300 1803 371">楽しいと感じられない (感情の平板化)</p> 
<p data-bbox="280 667 1019 738">だれかに見られている感じがする (妄想)</p> 	<p data-bbox="1288 667 1803 738">なにもやる気がしない (意欲低下)</p> 
<p data-bbox="302 1042 996 1114">体の中に何かがある感じがする (体感幻覚)</p> 	<p data-bbox="1220 1042 1870 1114">人のいるところへ出たくない (ひきこもり)</p> 

# 精神障害とは③

では、改めて、精神障害があるといわれる人たちはどういう人たちかということ、

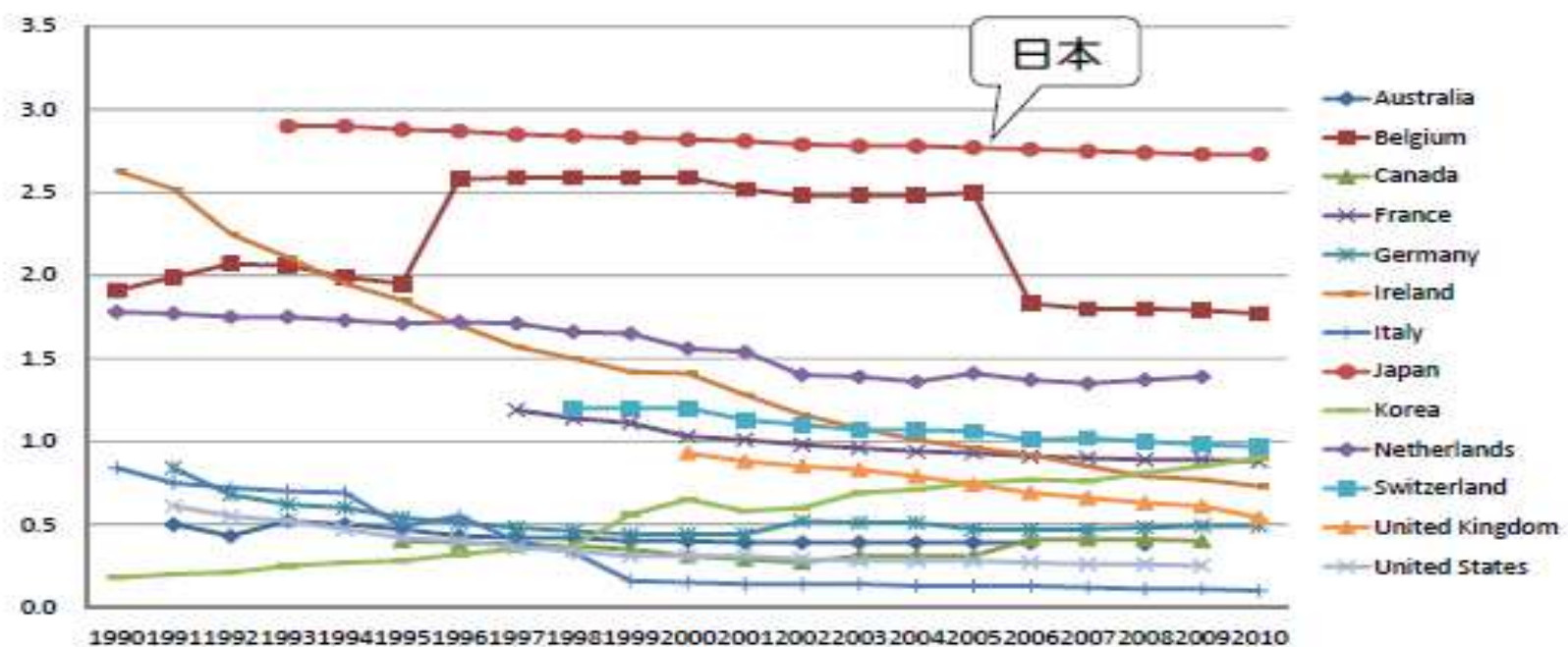
「精神疾患によって、日常生活に何らかの障害がある人」ということができます。

しかし、病気があっても「生活者」としては何ら私たちと変わることはありません。確かに病気が彼らを生きづらくさせているということはありませんが、病気だけでなく、社会的な差別や偏見なども生活していくうえでの障壁になっているのです。

# 精神障害のある人についての 私たちの国の状況

## 精神病床数※（諸外国との比較）

単位：床／千人



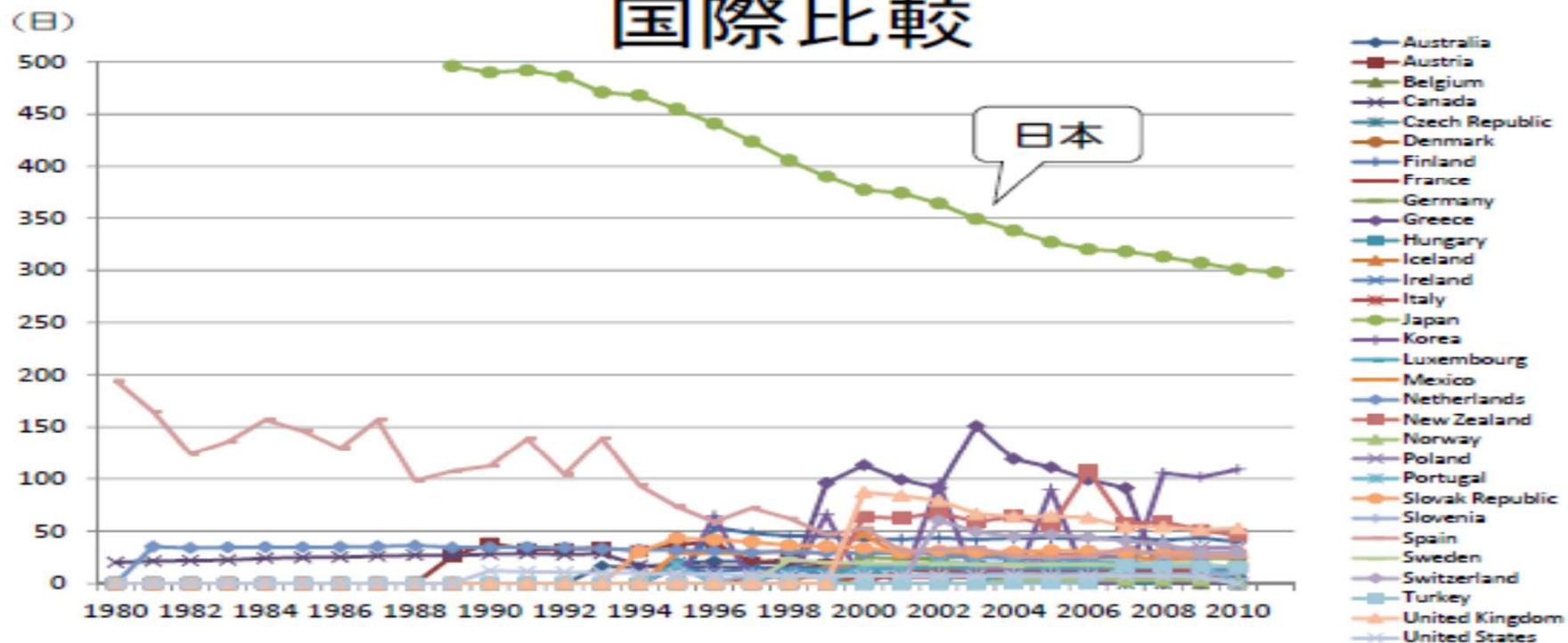
※各国により定義が異なる

資料：OECD Health Data 2012

出典 第1回精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針等に関する検討会より 2013.7.26

# 精神障害のある人についての 私たちの国の状況

## 精神病床の平均在院日数推移の 国際比較



※各国により定義が異なる

資料：OECD Health Data 2012  
注) 日本のデータは病院報告より

出典 第1回精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針等に関する検討会より 2013.7.26



# 精神障害のある人の歴史①

精神障害に関する日本で最も古い記述

→大宝律令（701）・・・精神病は、癲狂(てんきょう)といわれ、最も重い篤疾に入れられていた

前近代…日本「狐憑き」「祟り」といった迷信と結びつく

江戸時代…「入牢」「非人溜」 →罪人や被差別者の扱い

明治時代…「精神病者監護法」（1900）「私宅監置」の合法化，精神病院の創設

大正時代…「精神病院法」（1919）

戦争を間にはさみ、処遇は環境とともに劣悪なままで、私宅監置も継続された

# 精神障害のある人の歴史②

1950年代

1950（昭和25）年に「精神衛生法」が制定

私宅監置の禁止，医療の対象であるという正式に認知される

1952（昭和27）年のクロルプロマジンの導入。薬物療法が飛躍的に進歩

1964（昭和39）年「ライシャワー事件」

精神病患者がアメリカ大使を刺傷

1964（昭和40）年「精神衛生法」改正。措置入院制度創設

1960年代 高度成長を背景に民間病院が乱立

精神科特例による劣悪な環境、在院日数の増加、

ホスピタリズムと呼ばれる二次的な障害

国際的にはノーマライゼーションの浸透、人権尊重の見地から施設や大規模な精神科病院は解体へ

# 精神障害のある人の歴史③

1970年代 精神病院の開放化，リハビリテーションが唱えられ  
はじめた。地域における支援活動の始まり

1984（昭和59）年 「宇都宮病院事件」  
→日本の精神科病院の在り方が国際的な批判を受ける

1987（昭和62）年 「精神衛生法」が「精神保健法」  
へと改正

1995（平成7）年 精神保健福祉法成立

2006（平成18年）年 障害者自立支援法施行

2011（平成22年）年 障害者自立支援法一部改正

\*他の障害と横並びに位置づけられる

# 「障害」と権利

## \* 国連「障害者の権利条約」 (2006)

差別の禁止  
多様性の許容  
差異の尊重  
合理的配慮

\* 国連障害者年行動計画 (1979 国連総会採択)  
ある社会がその構成員のいくらかの人びとを閉め  
だすような場合、それは弱くてもろい社会  
障害者は…その通常の人間的なニーズを満たす  
ことにおいて、特別の困難を持つ普通の市民

# 障害のある人の主張

\*ピープルファーストは、1973年、アメリカのオレゴン州でひらかれた会議で、ハンディのある当事者が「ちえおくれ」や「知的障害者」とレッテルをはられることがどんなにいやか、ということをはなしあい、「人にどのようにしられたい？」ときかれ、「わたしたちは『しょうがいしゃ』であるまえに人間だ」とこたえたのがきっかけで生まれました

(ピープルファーストジャパンホームページより)

\*自立生活とは、危険を冒す権利と決定したことに責任を負える人生の主体者であることを周りの人たちが認めること。また、哀れみではなく福祉サービスの雇用者・消費者として援助を受けて生きていく権利を認めていくことです

(全国自立生活センター協議会ホームページより)

♪ここで、ちょっとリラックス♪

# 自分が生活の中で大事にしていること (権利) を挙げてください

例えば…

- 回転寿司や食べ放題に行くこと
- 旅行を楽しめること
- お気に入りの服装で出かけること
- 友人とおしゃべりすること
- トイレにゆっくり入ること
- 好きなときに音楽が聴ける

# 話し合ってみましょう

皆さんが挙げてくれた

『生活の中で大事にしていること（権利）』について…

誰もが皆さんと同じようにできている  
でしょうか？

制限を受けている人はいませんか？

# 今日一緒に考えたいこと

- ①一人ひとりの権利を大切にすること
- ②人を大切にす、優しい社会をつくること

この二つともが大切…



# 事例①

スムゾーさんは17年間精神科病院に入院していますが、友だちが多く外出も自由なため、特に退院しなくていいと思っています。ただ、きれい好きなスムゾーさんは、入院以来ゆっくりと毎日湯船につかりたいという気持ちはあります。そのことを最近聞いた病院の職員が、病院や地域の支援を利用しながら退院を目指しましょうと言ってきました。しかし、スムゾーさんは、弟が絶対退院してはいけなと口すっぱく言われているとしぶっています。

## 事例②

カキモトさんは、精神障害により判断能力が欠けているとみなされ、また身寄りがないことから成年後見制度を利用することにしました。後見人は、通帳や印鑑の管理、公共料金の支払い、毎月の生活費の支給などをしてくれます。ある日、全国的な選挙があることを知り、自分に投票のお知らせが来ないことに気付きました。問い合わせてみると、後見人をつけるときに選挙権がなくなることを説明されていなかったのです。

# さて、本人はどこにいますか？

- ①運転している
- ②運転に自信がないから、助手席に乗ってナビゲートしている
- ③後部座席にのって、外を眺めている
- ④車に乗ってない



では、運転しているのは誰でしょう？  
どういう道を何キロで走ってますか？

## 事例③

1年間精神科病院に入院していたスムコさんは、退院先のアパートを探しています。1件目の不動産屋さんからは「生活保護受給と精神科病院退院」により断られました。2件目では、「具合が悪くなって人に迷惑をかけたらどうするのか」と言われました。誰もが住みやすい街にするには、どのようにしたらいいのでしょうか。

## 事例④

ダイスケさんとエミさんは、一般の職場で働くことを希望しています。ダイスケさんは、障害のあることを伝えて短時間でやれる仕事を指しています。エミさんは障害者雇用で正社員を目指しています。二人が希望の仕事につくためには、社会（会社）はどのような配慮を考えることが必要でしょうか？

# グループ発表

各グループの代表者が一人1分で本日話し合われたこと、権利について考えたことを発表してください。

ここで一息・・・

ぼくはひとりで部屋にいななければならない。  
い。

床の上に寝ていればベッドから落ちることがないのと同じように、

ひとりでいれば何事も起こらない。

フランツ・カフカ:フェリーチェへの手紙  
(頭木広樹訳:絶望名人カフカの人生論より)

# ふいかえり

このワークショップを通じて、  
感じたこと、気がついたことな  
どをグループでわかちあってみ  
てください



# おわりに

\* 理想ではなく、現実 \*

\* 「あなたも、わたしも」の支えあいの輪を \*

誰もが自分らしい生活を獲得していくための力を秘めています。

一人ひとりがもつ「力や可能性」へまなざしを向けてみませんか・・・

人を大切にする社会は、エンパワメントに満ち溢れ、一人ひとりの権利を護ることを目指します。

皆さんの実践の場でも「まなざし」を大切にしてみてください

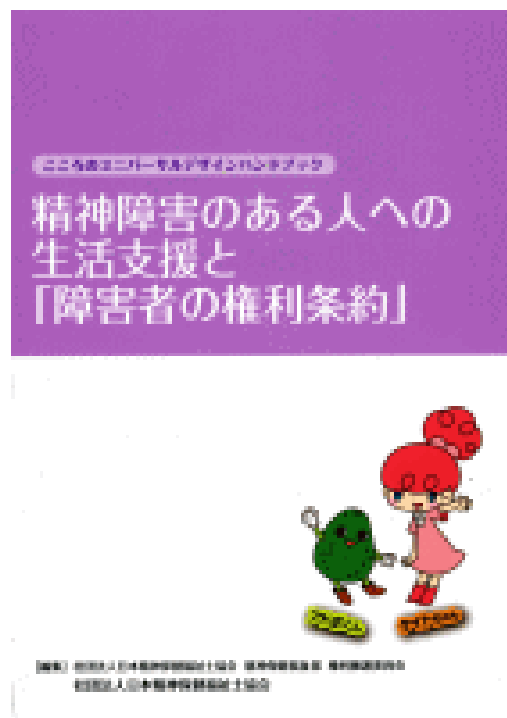
【参考資料】

# 精神障害と権利を考えるために

\* 日本精神保健福祉士協会編集権利擁護委員会の下記2冊が以下のURLからダウンロードできます。

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/hokokusyo/20100331-4.html>

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/hokokusyo/20110219-kenri.html>



## 出典 引用・参考文献

- **ピープルファースト** <http://www.pf-j.jp/>
- **全国自立支援センター協議会** <http://www.j-il.jp/>
- **絶望名人カフカの人生論** フランツカフカ著  
頭木弘樹編訳  
飛鳥新社 2011. 10. 20
- **精神障害者に対する医療提供の現状**  
第1回精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針等に関する検討会より  
2013.7.26 (厚生労働省)